



# ふたがわ

## 第40号

編集・発行 豊橋市立二川小学校

(0532) 41-0550

めざす子ども像  
ふたがわのよい子

- やさしい子 (徳)
- さしいる子 (知)
- 考えまわす子 (体)

**「ランドセルの交流」**  
校長 岩瀬 佐知子

四月五日、ピカピカのランドセルを背負った七十八名の新生を迎え、本年度の教育活動が始まりました。入学式や始業式では、三つの心の種をプレゼントしました。

一つ目の種は「やさしい子」の種。誰ともなくよく、力を合わせて協力する花を咲かせます。

二つ目の種は「考える子」の種。しっかり先生の話を聞いて、自分で考えて行動できる子の花を咲かせます。

三つ目の種は「たくましい子」の種。病気をしないで、元気で頑張ることのできる子の花を咲かせます。

この三つの花は、本校の校訓としてずっと引き継がれています。そして、我々教職員は今年度「自己肯定感を高める」を合言葉に、三つの花を咲かせるサポートをしてきました。下級生や友達を思いやりやさしく接する姿、自信をもって意見を交わし合う姿、元氣よく体を動かす、二川ギネス更新をめざす姿など、多くの子が芽を吹かせ、花を咲かせています。

今年度後半には、意識的に子どもたちだけで活動する機会を多くして、令和時代の目ざす「主体的・対話的で深い学び」につ

ながるような取り組みを始めました。

さて、ある講演会で「子どもが背負うランドセル」という話を聞く機会がありました。

登校する子どもたちのランドセルには家庭の雰囲気が詰まっています。

下校する子どもたちのランドセルには学校の雰囲気が詰まっています。

家庭からの雰囲気には、子どもの夢、保護者の願い、学校への期待、時には学校への不満や怒りもあるでしょう。学校はこれらをもとに受け止め、誠意をもって対応し、またランドセルに詰めていく必要があります。

また、学校からは集団生活だからこそできるかけがえのない経験や思い出、そして、担任の子への願いを「三つの心の花」の育ちとともに詰めて返します。

今の子どもたちのランドセルはカラフルでデザインや機能もさまざまです。中身も個性的なものがたくさんあります。これは時代とともに変わる「流行」です。しかし、前述の「ランドセルの交流」は、ともに子どもをみざす姿へと導きたいという願いを共有するために、家庭と学校との信頼関係を構築していくという「不易」であり、変えてはいけないもののひとつです。

大切なランドセルの交流を通して、保護者と連携し教育活動を推進していきます。



地域の方々に優しく教えてもらい、笑顔いっぱい活動しました。



お店の方にいろいろなことを教えてもらいました。

**1年 「笑顔いっぱい」**  
初めは緊張しましたが！

四月からいろいろなことに挑戦してきた一年生。毎日の授業をはじめ、給食当番や係活動、さまざまな行事など、初めてのことに力いっぱい取り組んでいます。

給食当番や係活動では、自分ががんばることだけでなく、友達と協力したり、困っている友達を手伝ったりする姿も見られました。

十二月に行われた「昔遊びを楽しむ会」では、地域の方々にこまの回し方やけん玉、お手玉などのこつを丁寧に教えてもらいました。「初めてだったけど、できるよになったよ。」「教えてもらってうれしかったよ。」「とても充実した笑顔を見ることができました。初めてのことに挑戦し、練習を繰り返すことで上達することを実感しています。挑戦することで、大きく成長し、笑顔いっぱいになってほしいと思います。」

**2年 「大すき二川！」**  
二川のすき場所発見！

生活科の学習で「大すき二川」を合言葉に、夏休みから二川校区のすきを発見してきました。四季折々の自然を楽しめる公園、おいしいものを売っているお店など、すきな場所をたくさん見つけました。

町探検では、大岩神明宮や八幡神社などにあるものを調べました。「これ、江戸時代にできたってかいてあるよ。」「大きな木がいっぱいあるね。」と歴史に触れることができました。

旧道沿いのお店探検では、地域の方から直接お話を聞きました。「お菓子屋さんには八軒もあつたんだって。」「昔、夕方は買い物かごを下げてお客さんで旧道は大賑わいだった。」など、昔の様子に驚きました。また、古い街並みを大切にしたい店構えになっていることも発見。「二川って本当にすきなところ」という思いを強くもちました。



動物園の飼育員の方のお話を聞きました。

**3年 「スマイル」も一年間でした**

三年生は、四年生から始まるウサギの飼育当番に向けて、「ウサギのことを知りたい、そして命の大切さについて知りたい。」と、今年度から総合的な学習の時間で動物園の飼育員の方と連携して命の学習を始めました。子どもたちの興味のあること、知りたいことを飼育員の方と打ち合わせをして、飼育員の方や、ウサギのひみつを教えるもらいました。飼育員の方からは、ウサギのことをよく観察し、いつもと違うところをチェックしている、ということを知りました。また、動物園に出かけて、実際にウサギと触れ合いながら、お世話の仕方、命の大切さを教えていただきました。「二川小学校のウサギとも早く触れ合ってお世話をしたい。」という気持ちが高めた子どもたちです。



学年での話し合い みんなで話し合って決めよう！

**4年 「パワフル」も一年間**

高学年の仲間入りをして、学年目標「パワフル」に負けないように活動してきました。今年一番力を入れてきたことは、自分たちで考え行動することです。縦割り班では、二年生のペアの子に寄り添い、一緒に活動できました。

飼育活動では、ウサギの幸せを第一に考え、どうすることがよいかを学級・学年で何度も話し合いました。

わくわく発表会のテーマを自分たちで話し合った「地球・いのち」とし、音楽や劇で表現しました。場面ごとのセリフや道具も自分たちで考え用意し、主体的に取り組むことができました。

この一年の経験を土台とし、次年度五年生も、さらに活躍します。



5年生、「できたー!!」

**5年 「かがやく」二はん**

学年目標の「こはん」には、「一人一人がしっかりとしている」「諦めない粘り強さがある」「人を責めない優しさや、折れない柔らかさがある」そんな姿を目標にしてほしいという願いが込められています。

六月に行われた野外教育活動では、初めての薪を使った料理やシートのたたみ方に苦労しながらも、一人一人が最善な手段を考えながら活動することができました。退村式での顔つきには自信と成長を感じました。

十一月に行われたわくわく発表会では、「ライオンキング」の劇に挑戦しました。人前に立つのが苦手な子、演技が苦手な子もいたと思いますが、全員が役を演じました。自分なりに全力を尽くし、「自分自身の成長」のため、「チーム五年生」のために頑張れたみなさんの姿は、とても立派で、輝いていました。

四月からはいよいよ最高学年。二川小を引っ張る存在として、ますます成長していきます。



守ろう！ 二川の伝統！ ~二川宿本陣まつり~

**6年 「心」を意識して**

四月、「心」(団結心・向上心・思いやりの心)を学年目標とし、それを合言葉に小学校生活最後の一年間がスタートしました。

最高の演技にしようと、みんなで心を一つにして取り組んだ運動会のスタンプ。これでもよしと妥協をせず、いつもさらに上をめざして練習し、心を込めて演じたわくわく発表会「走れメロス」。自分たちで「七条の憲法」を作り、守ろうと意識して行動した修学旅行。行事を終えるたびに、「心」が大きく成長しました。

日常生活でも、けがをした一年生にやさしく声をかけたり、友達の失敗をみんなどばん回したりなど、心温まる場面をたくさん見かけました。

いよいよ旅立ちのときが近づいてきました。ともに過ごす一日一日を大切に、みんなが「心」を合わせて、卒業式を迎えたいと思います。

**来年度にむけて**

本校の「めざす子どもの姿」

- やさしい子
- 考える子
- たくましい子

これらを実現できるよう、一年間の活動を振り返り、さらによりよい学校をめざしていきます。本年度の振り返りについては、裏面の「学校評価アンケート結果」と来年度への課題をごらんください。

**すぎの 一歩一歩**

本年度、すぎのこ学級は十五名の大家族になりました。特に四名の二年生を迎えたことで、みんな一歩成長してきました。

どんな手助けが必要なのか判断すること、自分がやりたいことと、相手のやりたいことの中で折り合いをつけること。ときには、じつとがまんすること。未来へ向けて大切な力をつけました。そして、下級生たちも、上級生から学び、保護者の方々からも、常に惜しみない協力をいただけてきました。

すぎのこ学級はいらぬいづでも、これからも「One Team」

